

【第 16 回分科会のテーマ：－Google マップのタイムライン－】

今回は、Google マップのタイムラインについて勉強します。

Google マップのタイムライン(Timeline) とは、あなたが 訪れた場所・通ったルート・移動手段(徒歩・車・電車など) を、自動的に記録・表示してくれる機能です。

Google アカウントにログインしてスマホで位置情報をオンにしておくと、Google マップが日ごとの行動記録を残してくれます。

タイムラインでは次のようなことができます。

1. 過去の移動履歴の確認

- たとえば「10 月 31 日はどこに行ったか」を地図上で確認できます。
- 移動ルート(徒歩・電車・車など)や滞在時間も表示されます。
- 「何時に出発して、何分滞在したか」まで詳細に見られます。

2. 訪れた場所を自動で記録

- レストラン・観光地・ホテルなどが自動でリスト化されます。
- 後で「この前の旅行、どこに行ったんだっけ？」と振り返るときに便利です。

3. 交通手段を自動判定

- 車・電車・徒歩・バスなどの移動方法を自動で判別してくれます。
- 間違っている場合は手動で修正も可能です。

ただ、Google マップのタイムライン(ロケーション履歴)は、次のような理由で、ときどき「場所がずれている」「立ち寄っていない所が記録されている」といった不正確なことがあります。

1. 位置情報の取得方法に限界がある

Google マップは、次の複数の情報を組み合わせて位置を推定しています:GPS(最も正確)/Wi-Fi アクセスポイント/携帯電話の基地局/Bluetooth ビーコン。そのため、屋内・地下・高層ビル街などでは GPS が届かず、Wi-Fi や基地局を使うため、数十～数百メートルの誤差が出ることがあります。

2. スマホの設定や状態の影響

スマホ側の「正確な位置情報の設定」、バッテリーセーバーや省電力モードで位置情報が制限されている、バックグラウンド更新が許可されていない、位置情報の更新頻度が低い(移動中も正確に追えていない)などの影響で位置精度が悪くなります。特に Google マップの位置情報を「常に許可」にしないと記録されないことがあります(p7 参照)。

3. Google はユーザーの移動データをもとに「滞在場所」や「経路」を自動で補完します。

そのため、移動が短時間で終わる、近くに同種の施設がある場合、「別の場所にいた」と誤認されることがあります。

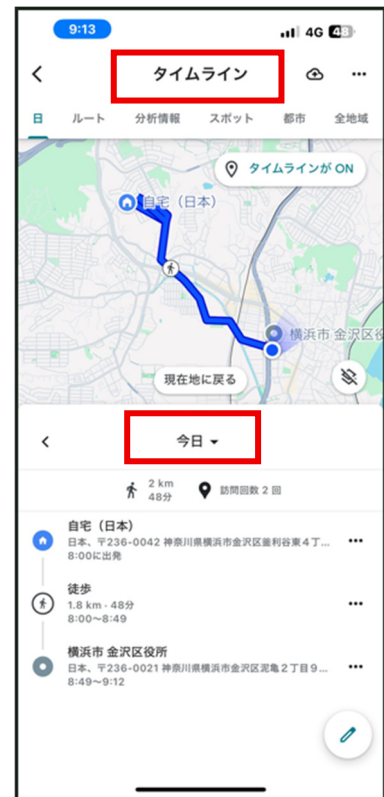
【目次】

- | | |
|----------------|-------------------------|
| 1. 事前準備(確認) | 5. Google マップのタイムラインの設定 |
| 2. 日ごとの行動を見る | A 位置情報履歴をオンにする |
| 3. 訪れた場所一覧を見る | B 位置情報の精度を上げる |
| 4. 「タイムライン」の修正 | |

【具体的内容：－Google マップのタイムライン－】

1. 事前準備(確認)

- ① Google マップアプリを開く ②右上の自分のプロフィール写真をタップ ③「タイムライン」を選択



2. 日ごとの行動を見る

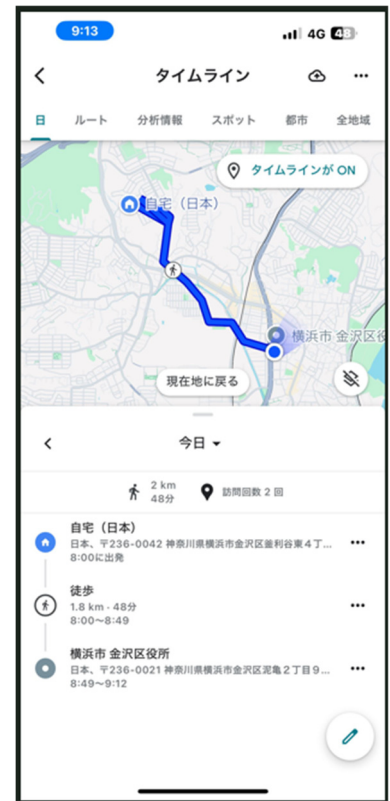
- ① Google マップアプリを開く
- ② 右上のプロフィール写真 → 「タイムライン」をタップ
- ③ 上部の日付をタップすると、カレンダーが表示されます



- ④ 見たい日を選ぶと、その日の
- 訪れた場所(滞在場所)
 - 移動ルート
 - 交通手段(徒歩・電車・バス・車など)
- が地図上に線やアイコンで表示されます。

➤ 地図上で見るポイント

- 青い線:移動経路
- 丸い点:立ち寄った場所
- 交通手段アイコン:
🚶 徒歩 🚗 車 🚊 電車 🚌 バス ✈️ 飛行機 など



3. 訪れた場所一覧を見る

タイムライン画面の上部メニューから「訪れた場所」タブ(場所・都市・国など)を選ぶと、自動的に分類された訪問履歴を一覧で確認できます。

①「スポット」

②「都市」

③「ホテル」



④「観光スポット」

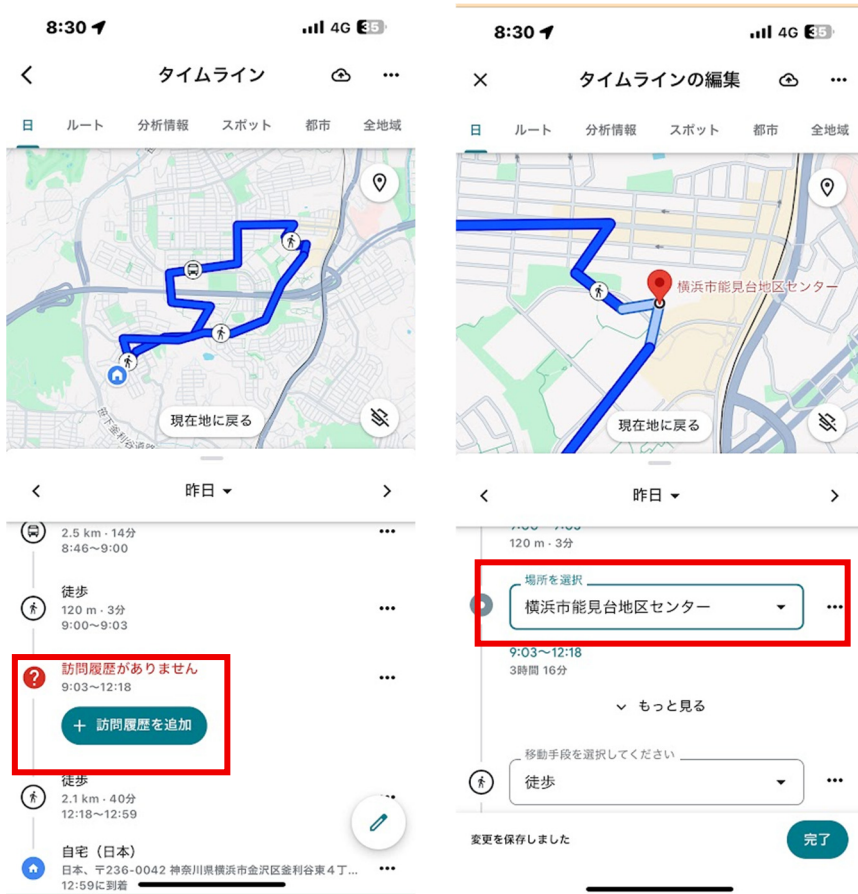
⑤「カルチャー」

⑥「訪問した場所」

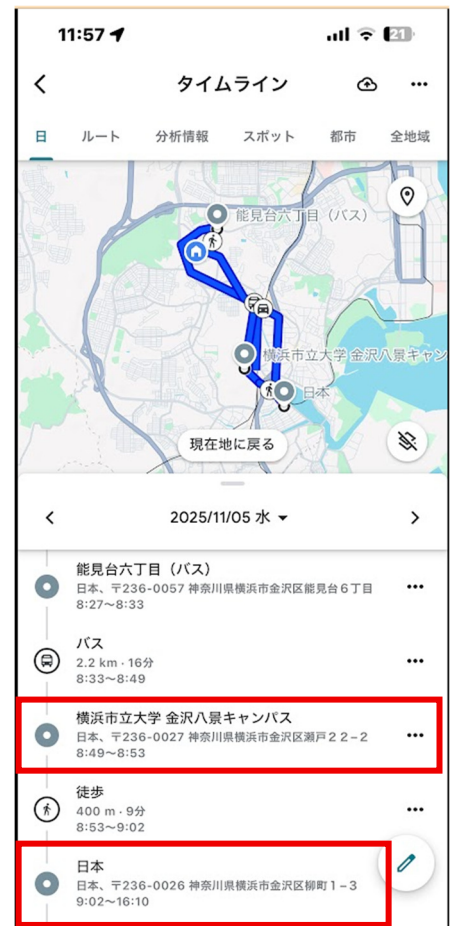


4. 「タイムライン」の修正

① 「訪問履歴がありません」と表示されたら、「+ 訪問履歴を追加」をタップして場所を選択する

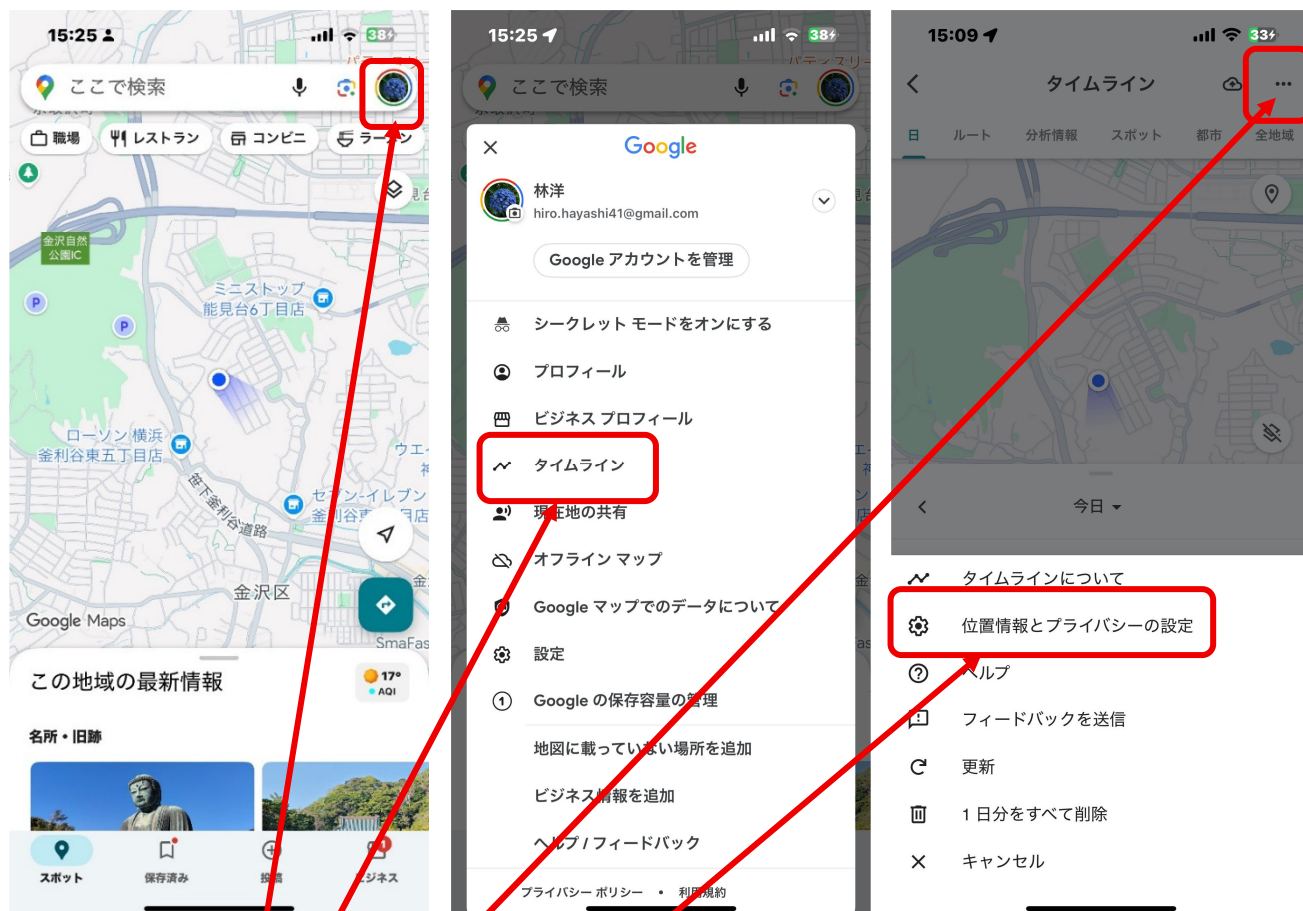


② 立ち寄った場所が正しくないときは修正する



5. Google マップのタイムラインの設定

A 位置情報履歴をオンにする



- ① Google マップを開く
- ② プロフィールをクリックする
- ③ 「タイムライン」をクリック
- ④ 右上の「…」(Android では「縦…」)をクリック
- ⑤ 「位置情報とプライバシーの設定」をタップ

- ⑥ 「タイムラインの設定」で「タイムラインがオン」をタップ
- ⑦ 「タイムライン」を「オン」にする



B 位置情報の精度を上げる

I. Android の場合

A) 位置情報の精度を「高精度」に設定

- ① 「設定」アプリをタップ
- ② 「位置情報」をタップ
- ③ 「位置情報」を「On」にする
- ④ 「マップ」をタップ
- ⑤ 「位置情報の権限」を「常に許可」にする
- ⑥ 「正確な位置情報を使用」を「On」にする

B) Google マップの位置情報を「常に許可」にする

- ① スマホの 設定 →「アプリ」
- ② 「Google マップ」を探してタップ
- ③ 「権限」→「位置情報」を選択
- ④ 「常に許可」にチェック
- ⑤ 「正確な位置情報」もオンにする

C) バッテリー最適化を解除(省電力モードを OFF)

- ① 設定 → バッテリー
- ② 「省電力モード」をオフにする
または「アプリのバッテリー使用を最適化」→「Google マップ」を最適化しないに設定

D) Wi-Fi と Bluetooth をオンにする(常に)

- Wi-Fi を使っていないなくてもオンにしておくと、周囲の Wi-Fi 電波を利用して位置精度が向上します。
- Bluetooth も同様に、近くの信号機・ビーコンから補正データを取得します。

E) Google アカウントの「ロケーション履歴」をオンに

- ① Google マップアプリを開く
- ② 右上の プロフィールアイコン → タイムライン
- ③ 縦…→(⚙)位置情報とプライバシーの設定
- ④ 「位置情報の設定」で「位置情報がオン」にする

F) 端末の位置情報履歴が古い場合はリセット

- ① 設定 → 位置情報 → 位置情報サービス
- ② Google 位置情報の精度 → オフ→オン
GPS 情報がリセットされ、精度が安定します。

II. iPhone の場合

A) Google マップの位置情報を「常に許可」にする

1. 設定アプリ →「プライバシーとセキュリティ」→「位置情報サービス」
2. 「Google マップ」を選択
3. 「常に許可」に変更
4. 「正確な位置情報」もオンに

B) Google マップアプリ内の設定も確認

- ① Google マップを開く

- ② 右上のプロフィール写真 → 「タイムライン」
- ③ 右上の「…」をタップ→(⚙️)位置情報とプライバシーの設定
- ④ 「位置情報の設定」で「位置情報サービスがオン」になっているか確認
位置情報履歴がオフだと、移動履歴(タイムライン)が保存されません。

C) バックグラウンド更新を許可

- ① 設定 → 一般 → アプリのバックグラウンド更新
- ② Google マップを探して、オン(緑) にする
アプリを閉じていても位置情報を取得できます。

D) Wi-Fi と Bluetooth を常にオンに

- Wi-Fi を使っていないなくても、周囲の Wi-Fi アクセスポイント情報から位置精度が上がります。
- Bluetooth も、近くの信号機やビーコンから補正データを受け取る場合があります。

E) 省電力モードをオフにする

「設定」→「バッテリー」→「低電力モード」をオフにする
省電力モードがオンだと、バックグラウンド処理が止まり、位置更新が遅れます。

以上